

# シネマズライフ

2018年5月4日発行 第143号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかざ りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『ゲティ家の身代金』

稀代のケチ男・ジャン・ポール・ゲティに相当難しかったらしい。

稀代のケチ男・ジャン・ポール・ゲティからどうやって身代金を出させるか?がテーマらしいが、

【最近のこれはまずいぞ!】

『やっさたるマン』

某市の公式マスコットキャラクターの中の人の苦勞話。いや、それよりも命名のセンスが...

## 映画の風景 日本の風景

※ 青森県五所川原市 ※

五所川原立俣武多(2007年)→



い紙に筆で恋文を書いて西岡にからかわれる。その頃、会社では『大渡海』の出版中止の噂が流れており、中心人物は村越局長。そこで、馬締と西岡がなんとか説得工作を試みるが...

今から18年前。玄武書房営業部に勤める馬締(まじめ)光也は、地味で真面目な性格が災いして変人扱いされていた。一方、辞書編集部では、辞書一筋の編集者の荒木が定年退職する為、荒木を尊敬する西岡が代わりを探すがなかなか見つからない。そこで馬締の噂を聞き、辞書編集部に誘う。馬締は荒木の試験に合格し辞書編集部員に。新しい辞書『大渡海(だいとかい)』のテーマは「今を生きる辞書」。編集者となった馬締は張り切るが、辞書作りの地味さは馬締の地味さよりも超えており、新しい言葉を一つ一つ紙に書き、

『舟を編む』という映画があった。こんな映画だ。

『舟を編む』2013年 日本 監督 脚本:石井裕也 原作:三浦しをん  
出演:松田龍平 宮崎あおい オダギリジョー 黒木華 渡辺美佐子 池崎千鶴 鶴見辰吾 森生美子伊佐山ひろ子 八千草薫 小林麗 加藤剛

昨今ではネットで検索が主流だがゆっくりに辞書で探すという行為は文字を探すという事で、そういう事をしない学生が多くなった為【短絡的】な人が増えたのかな?とも思う。

人に知ってほしいのか  
知ってほしくないのか?  
と思う件



『ヴォイニッチ手稿』  
↑絵が描かれた六つ折のページ。

『映画の風景 日本の風景』で紹介した『東日流外三郡誌』(つがるそとさんぐんし)もそうだが、日本にはほかにも不思議な文書が多い。『竹内文書』『ホツマツタエ』などで、特に『ホツマツタエ』は古代の歴史を神代文字(じんだいもじ)の一つで、いわゆる歴史文書として伝わっている古典四書、  
『古事記』  
『日本書紀』  
『先代旧事本紀』(旧事紀)  
『古語拾遺』  
とは、まったく違う歴史が書かれていて、熟読してみるのも面白いかもしれない。



『ヴォイニッチ手稿』  
↑上に文字が書かれ、下に植物のようなものが描かれている。

このような『偽書』といわれる文書は海外にも多く、最たるものは『ヴォイニッチ手稿』だろう。まったく読めない文字で書かれ、おまけに奇妙なイラストが描き込まれ、「いったい何が書かれているのか?」と人々の想像を刺激する。何が書かれているかわからない為、人々の好奇心をそそるのだ。しかし、本は存在する...、さて、作者は何か人の伝えたかったのだろうか?それとも、なにも伝えたくなかったのだろうか?

以下次号





# on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介しします!

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(\_)\_m

## 『マークスの山』

WOWOW

1995年 日本

監督 脚本: 崔洋一 脚本: 丸山昇一

原作: 高村薫

出演: 中井貴一 萩原聖人 古尾谷雅人 名取裕子 小林稔侍  
遠藤憲一 伊藤洋三郎 寺島進 大杉漣 でんでん 金守珍 前田吟  
世野高史 岩松了 萩原流行 塩見三省 角野卓造 岸部一徳

東京・目黒。元暴力団員の畠山が殺された。頭に奇妙な傷をつけた殺人で、警視庁捜査一課七係が捜査、合田警部補も担当となった。畠山の部屋を捜査すると、覚せい剤と大金を所持していた。しばらくして法務省の刑事局刑事課長の松井が殺され、畠山と同じような傷がついている事がわかった。二つの殺人がなんらかの関係があるのは明らかだった。ところが、死体の解剖について本部から引き延ばしの命令が入っており合田は不審に思う。捜査が進む中、元暴力団員の畠山と法務省の刑事局刑事課長の松井との共通点がわかった。畠山の弁護士が林原という男で、松井とは修学院大学雪登山岳会の同期だという。意外な二人の共通点に合田は驚いたがこの事件にはもっと深い事実が隠されていた…。事件の鍵を握る男・水沢に萩原聖人。傑作スリラー『CURE』でも不気味な雰囲気を持つ男として登場し、映画の怖さが倍増させている。

## 『星に想いを』

スターチャンネル

1994年 アメリカ

監督: フレッド・スケピシ

音楽: ジェリー・ゴールドスミス

出演: メグ・ライアン ティム・ロビンズ ウォルター・マッソー トニー・シャルプ ルー・ジャコビ ジーン・サックス

自動車修理工のエドは車の修理に訪れたキャサリンに一目惚れ。彼女がたまたま忘れた懐中時計を彼女の家を届けたところ、なんと有名な物理学者のインシュタイン博士と出会う。キャサリンは、インシュタインの姪だったのだ。素直に喜ぶエドを気に入った博士は、友人達に紹介。キャサリンが好きでもない男と婚約した事をよく思っていない博士は、エドとキャサリンをカップルにする事を思いつく。そこで、エドを天才科学者とキャサリンを紹介したところ数学者の彼女はエドに興味を持つように。博士の協力でなんと科学者風になれたものの、それが長続きする訳でもなく…。実際インシュタイン博士がいたずら好きだったという話がベース。ウォルター・マッソーがすっかりインシュタイン博士になりきってます。

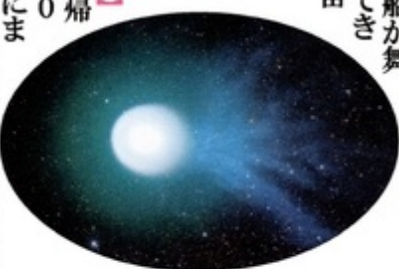
★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで感想をお叱りお聞かせください。よろしくお願ひします!! 貴樹諒音

★次回新刊発行は12月6日です。12月発行予定は第1・3金曜日です。

## 1997年 フランスアメリカ 監督 脚本 原作: リック・ベクソン 『フィフス・エレメント』

出演: ブルース・ウィリス イアン・ホルム ミラ・ジョウォウィッチ  
ケイリー・オールドマン クリス・タッカー

20世紀初頭。エジプトの二つのピラミッドで学者が、文字を解読しようとしていた。それは地球の運命に関わる事のようだ。その秘密を知っているのは、ピラミッドを守る神父。そして、その秘密が暴かれようとした時、ピラミッドに宇宙船が舞い降りてきて、宇宙人達が現れ、秘密の部屋から(四つの石エレメント)を持ち帰り、300年後にまた来る...と言いつつ残して去って行った。それから300年後。地球の近くに知性を持った黒い大きな星が現れ地球はパニック! このままでは地球が飲み込まれてしまう勢いだ。そこで大統領に進言するのは、300年前から「伝言」を受け継いでいるコーネリ



アス神父。「もうすぐモンドシヤワ人が現れ、『五つ目のエレメント』を持ってくるから受け入れるように」と伝えるがやってくるモンドシヤワ人の宇宙船は、武器商人・ソークから命令されたマンガロワ人に攻撃されあえなく墜落。その墜落後には生物の一部組織しか残っていない。そこでその組織を再生させたところ、美少女が現れるが、その場から逃げ出し、飛行機から降りる。そこに遭遇したのは、元統一宇宙連邦軍人。今はタクシー運転手をしていてコーベン。実は少女こそ『五つ目のエレメント』でコーベンは地球の危機を救う為に戦うハメに...

地球の明るい未来の為に助けるのか、美少女を救う為なのかよくわかりませんが、おじさんは頑張ってます。

12007年に大バーストを起したホームズ星織を再生させたところ、美少女が現れるが、その場から逃げ出し、飛行機から降りる。そこに遭遇したのは、元統一宇宙連邦軍人。今はタクシー運転手をしていてコーベン。実は少女こそ『五つ目のエレメント』でコーベンは地球の危機を救う為に戦うハメに...

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

**シネマズライフ143号**  
 発行人: 貴樹諒音  
 発行日: 2018年5月4日  
 cinemaz-life@movie.nifty.jp  
 告知ブログ  
 http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/  
 Wikipediaから使用させていただきました。m(\_)\_m



【編集後記】  
 ☆「ゲティ家の身代金」  
 原題は「All the Money in the World」。世界のすべてのお金だ。金持ちは単なる変人だったのだからケチだったのか? 不肖の孫とはいえ「身代金」を値切るとは。「身代金」の王道を行く。事件の時代より「王道」を行く人は増えた気がします(笑)

皆様お元気でお過ごし下さい!! かしこ

☆今号は『シネマズライフ』143号の再発行です。

いつも読んで頂いてありがとうございますm(\_ \_)m

今月は、諸事情の為発行できません。そこで、以前発行した号を再発行します。

また、この作品、こんな作品、この俳優・女優さんの出演した作品が

載ってる号を読みたいという要望があれば、

cinemaz-life@movie.nifty.jp

にメールかコメントを頂ければ幸いです。

シネマズライフ-cinemaz-life- 143号 (再発行)

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/>

お世話になっているインターネットTV

**netchannel KYO**

§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社